

A-21 救急部門(必修)プログラム(統括)

概要

救急部門(必修)プログラムでは、救急部門研修を救急科と麻酔科とで担当して行う。

指導責任者 救急科 岡田 稔
麻酔科 内田 博 (救急部門研修プログラム責任者)

目標

中央病院 GIO

将来遭遇しうるいかなる状況においても思いやりを持ちながら良質な全人的医療を行うために、県の基幹病院での研修を通じ、将来の専攻する診療科にかかわらず臨床に必要な基本的診療能力(態度、技能、知識)を修得する。

一般目標(救急部門研修 GIO)

将来遭遇しうるいかなる状況においても思いやりを持ちながら良質な全人的医療を行うために、救急医療の現場で生命や機能予後に係わる緊急を要する病態や疾病を経験することにより、臨床に必要な基本的診療能力(態度、技能、知識)を修得する。

行動目標(救急部門研修 SBOs)

以下のプログラムに記載している

A-22 救急部門(必修) 救急科担当プログラム

A-23 救急部門(必修) 麻酔科担当プログラム

方略(LS)

以下のプログラムに記載している

A-22 救急部門(必修) 救急科担当プログラム

A-23 救急部門(必修) 麻酔科担当プログラム

また、月4回程度の救急外来日当直を担当する。

評価(EV)

形成的評価(フィードバック)

総括的評価 A-22 救急科、A-23 麻酔科プログラムそれぞれの終了時に EPOC に入力する
研修管理委員会へ報告